

# 令和7年度 学校経営グランドデザイン

## 【学校教育150年の成果と課題】

- 明治5年に「学制」が公布されてから令和5年で151年目。我が国の教育は国際的に高い水準を達成するに至り、社会の発展に大きく寄与してきた。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵略は、平穏な日常が脅かされ、基本的な価値が揺らぐという共通経験をもたらした。平成18年に改正された教育基本法の前文にある「たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する」ことの重要性や教育の目標にある「生命を尊重する」ことの大切さを再確認する契機となった。
- 同法第1条においては、教育の目的として「人格の完成」「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」が規定されるとともに、第2条においては教育の目標が規定され、①知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した個人、②公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、③我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされている。
- これら教育基本法の理念・目的・目標の実現を目指すことは、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代に(VUCA\*時代)においても変わることのない、立ち返るべき教育の「不易」である。

参照：次期教育振興基本計画策定に向けた審議資料中央教育審議会教育振興基本計画部会

## 【教育目標】

『自律』  
『創造』  
『協働』

## 【学校経営方針】

- 平和や安全、人権を尊重し、生徒の自律を促すよう、すべての教育活動に組織的に取り組む学校
- 教育学とICT等の最新技術や情報を活用し、生徒が新たな価値の創造に取り組む学校
- 教師と生徒、そして学校と保護者や地域等の人々と協働し、Well-being\*に参画する学校

VUCA\*=社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況のこと  
Well-being\*=経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいと捉える考え方。  
個人だけでなく社会との共通の目標

「自律」とは、主体的に社会や世界と関わり、よりよい人生を送る(Well-being\*)ための重要な資質と捉えます。成年年齢や選挙権年齢が18歳引き下げに伴い、生徒自身が自己決定権を尊重し、積極的な社会参画を行うことができる力が求められています。また、「自律」を目標に据えることにより、学びに向かう力や人間性等の観点のもと、グローバル化する社会の持続的な発展及び「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けて学び続ける人材の育成を目指します。

「創造」とは、学んだ知識や技能を思考し、判断し、表現することを通し、新たな価値を創造するまでのプロセスを包括します。予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点から、「持続可能な社会の創り手」という学習指導要領前文に定められた目指すべき姿の実現を目指す重要な一端を担う力となります。

「協働」とは、社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残すことなく、かつ自分や他者の良さを失うことなく、集団として最大限の力を発揮できるよう協力し、目標を定めた明確な取組をすることにより成果を上げることを意味します。

### 【目指す生徒像】

目標に向かって学ぶ生徒  
思いやりのある生徒  
心身ともに健康な生徒

### 教育目標『自律』『創造』『協働』

R7重点目標 疑問や思いを声にし、  
主体的に課題を探究しよう

### 【目指す教師像】

教育目標の実現に取り組む教師  
生徒に無限の可能性を抱く教師  
高い倫理観と豊かな人生観を持つ教師

## 【令和7年度教育課程基本方針に基づく実践事項】

自ら考え、主体的に学ぶ 生徒の育成に努める	他を思いやり責任を果 たす生徒の育成に努める	心身ともに健康な生徒 の育成に努める
(1) まとめの時間の充実 (2) 個別最適な学びの実践 (3) 学び方や評価の工夫 (4) 言語環境の整備と成果 発表の設定	(1) 道徳教育の充実 (2) 特別活動の充実 (3) 生徒指導の充実 (4) キャリア教育の充 実	(1) 基本的生活習慣の育成 (2) 健康教育、食育の推進 (3) 運動の実践と体力の向上 (4) 安全の確保と安全教育の 推進

### 【R7学校運営ビジョン】

#### 共通実践テーマ『焚き付けを『炭火』につなぐ』

【R7学校が重点的に取り組むこと】  
◎ 生徒一人一人に応じて「熱」つします。(なぜ・どうして、おもしろそう、やってみよう)  
知 答えが一つとは限らない学習課題に取り組ませ、生徒の知的好奇心を高めます。  
徳 多様性を認める土壌づくりに努め、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めます。  
体 生徒が夢や希望を持てるようキャリア教育の質を上げ、心身の健康を増進する意欲を高めます。  
◎ 発火を促す「酸素」を与えます。(効果的な話し合いを通し、互いを認め合い、高め合う)  
知 話し合いを答え合わせから叩き台の場と変換させ、より妥当性のある解を導く態度を育てます。  
徳 なりたい人物像を明確にさせ、他者との円滑な関わりを促すコミュニケーション・スキルを養わせます。  
体 各分野で活躍する人材等を活用し、自分に必要な技能等の習得に取り組む態度を育てます。  
◎ 種火を内在する「可燃物」への燃焼につなげます。(できた、わかったを次のステージへ)  
知 学習成果発表会や地域との協働学習を重ね、豊かな経験値に基づく即興発信力を養わせます。  
徳 SDGsに基づく学習を進め、持続可能な世界を築くために自ら実践する力を養わせます。  
体 実感する豊かさの段階を客観的に捉えさせ、自身の Well-being を目指す素地を養わせます。

【R7重点目標】

疑問や思いを声にし、主体的に課題を探究しよう

【視点1】「学校の実践、教職員の姿」

◎ 生徒一人一人に応じて「熱」つします。(なぜ・どうして、おもしろそう、やってみたい)

[知] 学校は答えが一つとは限らない学習課題を計画的に設定している。

[徳] 学校は多様性を認める土壌づくりに努めている。

[体] 学校は生徒が夢や希望を持てるようキャリア教育の質の向上に取り組んでいる。

◎ 発火を促す「酸素」を与えます。(効果的な話し合いを通し、互いを認め合い、高め合う)

[知] 学校は話し合いを答え合わせから叩き台の場と変換させる学習活動に取り組んでいる。

[徳] 学校は生徒になりたい人物像を明確にする指導、支援をしている。

[体] 学校は各分野で活躍する人材等を適切に活用している。

◎ 種火を内在する「可燃物」への燃焼につなげます。(できた、わかったを次のステージへ)

[知] 学校は学習成果発表会や地域との協働学習の実践を積み重ねている。

[徳] 学校はSDGsに基づく学習を進めている。

[体] 学校は生徒に実感する豊かさの段階を客観的に捉えさせる支援にあたっている。

【視点2】「生徒の変容、成長」

◎ 生徒一人一人に応じて「熱」つします。(なぜ・どうして、おもしろそう、やってみたい)

[知] 生徒は知的好奇心を高めている。

[徳] 生徒は自己肯定感や自己有用感を高めている。

[体] 生徒は心身の健康を増進する意欲を高めている。

◎ 発火を促す「酸素」を与えます。(効果的な話し合いを通し、互いを認め合い、高め合う)

[知] 生徒は話し合いを通して、より妥当性のある解を導き出そうとしている。

[徳] 生徒は他者との円滑な関わりを促すコミュニケーション・スキルを研んでいる。

[体] 生徒は自分に必要な技能等の習得に取り組んでいる。

◎ 種火を内在する「可燃物」への燃焼につなげます。(できた、わかったを次のステージへ)

[知] 生徒は発表等に慣れ、豊かな経験値に基づく即興発信力を養っている。

[徳] 生徒は持続可能な世界を築くために自ら実践する力を養っている。

[体] 生徒は自身の Well-being を目指す素地を養っている。

【目指す生徒像】 《知》目標に向かって学ぶ生徒 《徳》思いやりのある生徒 《体》心身ともに健康な生徒

目指す生徒像	自ら考え、主体的に学ぶ生徒の育成に努める	他を思いやり、責任を果たす生徒の育成に努める	心身ともに健康な生徒の育成に努める
実践事項	<p>(1) まとめの時間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1単位時間等を通して本時で何がきようになったのか実感させる時間を毎回設定する</li> </ul> <p>(2) 個別最適な学びの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の学習課題や学習方法を常に選択させる</li> <li>・ ドリルアプリ等を効果的に活用する</li> </ul> <p>(3) 学び方や評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元テスト等をデータ化し、指導と評価の一体化を図る</li> <li>・ 各種検定試験の積極的な参加を促し、評価として活用する</li> </ul> <p>(3) 言語環境の整備と成果発表会の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TPO を意識した言葉遣いを基本に、事例の紹介や根拠を明確にした発表力を育成する</li> <li>・ 人前での発表に自身を持ち、即興発信力や質問力を育成する</li> </ul>	<p>(1) 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相互に認め合う人間関係をつくり、全教育活動で教師自らが生徒の道徳性を育成するために模範的な言動をする</li> <li>・ 道徳の時間の基本的な指導過程をもとに、指導方法や体制、指導の工夫など創意工夫を生かした展開をする</li> </ul> <p>(2) 特別活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が自ら活動の計画を立て、問題の解決に取り組むなど主体的・自治的な活動を促進する</li> </ul> <p>(3) 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教育活動で、自己決定の場や自己存在感を味わうように配慮し、積極的な生徒指導にあたる</li> </ul> <p>(4) キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の可能性を伸ばす視点から自らの生き方を考えさせ、適切な進路選択ができるよう系統的かつ組織的に相談や支援をする</li> </ul>	<p>(1) 基本的生活習慣の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身ともに健康な生活を営むために必要な知識や技能を継続的に指導し、自主的・自律的な生活習慣を育成する</li> </ul> <p>(2) 健康教育、食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代的な健康課題や食育に全職員で取り組み、多様な指導方法を活用して、実践力の育成に努める</li> </ul> <p>(3) 運動の実践と体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教育活動で生徒が自らの体に関心を持ち、積極的に運動を実践し、体力の向上を図る</li> </ul> <p>(4) 安全の確保と安全教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒や状況、環境等に応じた安全管理、指導を行い、傷害や災害の防止を実現する</li> <li>・ 安全や防災に関する情報を常に更新し、計画的、継続的に安全教育を推進する</li> </ul>
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学習スタイルを指導します</li> <li>☆ノート活用法を指導します</li> <li>◇読書活動を促します</li> <li>☆家庭学習状況を把握します</li> <li>○人前での発表に自信を持って取り組みます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きちんとあいさつをします</li> <li>○正しい言葉遣いをします</li> <li>○自分のことは自分で行います</li> <li>◇相手を理解し、認めます</li> <li>☆進路情報を適時に提供します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆小中高の連携を図ります</li> <li>○早寝早起きし、朝食をとります</li> <li>○一日一回汗をかく運動をします</li> <li>◇事故・ケガ、ゼロをめざします</li> <li>◇ともに Well-being を意識した生活を心がけます</li> </ul>
○生徒 ☆教師 ◇共通			